

市 だ 議 会 よ り



にほんまつ

第 号 6月定例会
平成29年8月1日発行
47

あだたら溪谷奥岳自然遊歩道「魚止滝」

INDEX

議会報告会結果	第1回議会報告会を開催	2
定例会概要	国民健康保険財政調整基金条例制定など8議案を可決	4
常任委員会報告	行政課題の解決に向けて 常任委員会審査報告	6
一般質問	市の明日を考える 14人が一般質問 QRコード掲載開始	8
討論・臨時会概要	討論 4月臨時会 表彰	13
傍聴者の声・お知らせ	傍聴者の声 お知らせ	14

皆さんの声を活かしてまいります

第1回議会報告会を5月15日から18日にかけて、市内4会場で開催しました。初の開催ということで、議員が4班に分かれて臨みました。

今回は、主に3月定例会の審議内容を議員から説明した後、参加した皆さんとの意見交換を行いました。それぞれの会場で皆さんからお寄せいただいた主な意見をご紹介します。

今後、これらの意見・提言について、どう対応していくか検討し、議会運営・政策形成に活かしていきます。

定住促進

- ・子どもたちが地元に残り、頑張れるような、教育を含めた対策を。
- ・市の発展のためにも、より移住しやすい環境づくりを考える必要があるのでは。

地域づくり

- ・市内には山林が多いので、山林を利用したバイオマス発電による地域再生等の計画を望む。

- ・市民との協働による補助事業は、どこにどれだけ使われたのか市民への周知が必要。

- ・市民との協働による補助事業は、議会でのしつかりとした検証が必要なので。

- ・市民との協働による補助事業は、人口割ではなく、これまで同様、各地域均等の配分を継続してほしい。

行財政

- ・ふるさと納税で二本松独自のものをつくって財政を豊かにしては。

防災

- ・防災行政無線は、防災情報だけでなく、市の様々な情報を発信してほしい。

農業

- ・駆除したイノシシの処理方法について、市の現状に

観光

- ・市観光施設のトイレを計画的に洋式化してほしい。

- ・安達駅西地区整備事業ではどのようなことが計画されているのか。道路が狭く怖い。歩道等の整備はできないか。

道路

- ・県道川俣線の未整備箇所（狭隘箇所）が怖い。また、混雑する旧4号の安達・油井地内に、右折レーンの整備を。

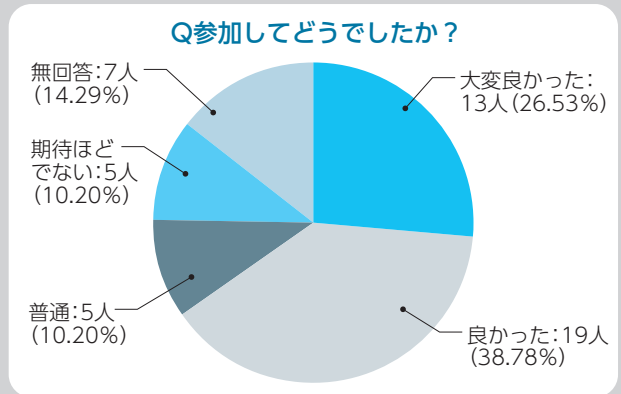
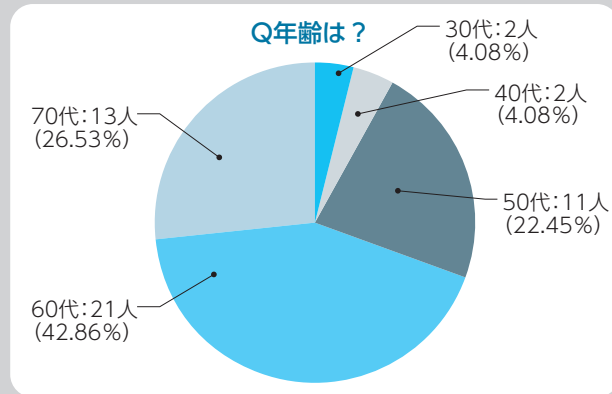
- ・LEDによる健康被害も何か出ている様なので、その点も検討してLED街路灯を導入してはどうか。

公園

- ・滑り台の着地点やブラン

参加者アンケート

*参加者61人中、49人の方から回答をいただきました。(回答率80.3%)



■二本松地域

開催日時 5月15日(月) 午後6時30分
場 所 市役所 6階 正庁
参加人数 11名
担当議員 ◎佐藤 有 ○安齋 政保
齋藤 広二 佐藤 源市
齋藤 周一 本多 勝実



二本松市役所 正庁

■安達地域

開催日時 5月16日(火) 午後6時30分
場 所 安達公民館 1階 集会室
参加人数 15名
担当議員 ◎菅野 寿雄 ○本多 俊昭
佐藤 連喜 平 敏子
平塚與志一 高橋 正弘



安達公民館 集会室

■岩代地域

開催日時 5月17日(水) 午後6時30分
場 所 岩代公民館 2階 大会議室
参加人数 26名
担当議員 ◎堀籠 新一 ○小野 利美
加藤 建也 熊田 義春
小林 均 齋藤 賢一



岩代公民館 大会議室

■東和地域

開催日時 5月18日(木) 午後6時30分
場 所 東和文化センター 2階 研修室
参加人数 9名
担当議員 ◎五十嵐勝蔵 ○深谷 勇吉
石井 馨 菅野 明
浅川 吉寿 平栗 征雄



東和文化センター 研修室

※担当議員の◎は班長、○は副班長

意見はどうなる？

●今回の意見、提言はどうなる？

- ①議会に対応するものと市で対応するものを精査します。
- ②市(執行機関)に伝えるべきものは、まとめて市長へ提出します。

●その結果はいつ公表するの？

次号(11月1日発行)の市議会だよりで、どのように対応したのか、その結果をお知らせする予定です。

議 会

コこの所の水たまり対策に、ラバーを貼るなど改善を。
・霞ヶ城公園運動施設区のベンチの板が腐っているよ
うなので交換してほしい。

下 水 道

・下水道への接続率が低い
のではないかと。お金をかけ
て整備しているのに、接続
率を上げる努力が必要で
は。

・議会報告会は、これだけ
の議員が出席しているのだ
から、区長や各種団体の長

など、もっと人数を集める
工夫を。
・議会ウェブサイトの情報遅
録検索システムの情報が遅
い。もっと早く掲載してほ
しい。請願や陳情の内容も
ウェブサイトで見られるよ
うにしては。
・このように議員とフラン
クに話せる懇談会をもっと
開催してほしい。
・議員定数は他市に比較し
て、人口や面積を考慮して
も多いのではないかと。

アンケートから 参加者の声

次回の開催に
活かしていきます!

- ・新たな取組みであり、良いことだと思う。
- ・質問に対して、丁寧に議員の方が説明してくれた。
- ・市民の生の意見を議員に聞いてもらい、それを議会に反映してもらいたい。
- ・議会としての考え方が伝わっていない。市提案の議案の説明で終わっているのではないかと。
- ・一般市民へのPRが必要!
- ・今後とも継続してほしい。
- ・議会に対して、もっと目を向けるための内容の精査を願う!
- ・説明は短くし、意見交換の場を長くしてもらいたい。
- ・資料を事前に読む時間がほしい。
- ・議会報告会があるため、「市議会だより」を真面目に読んだ。予習の甲斐があり理解できるのが多かった。この会を定期的に開いて市民が関心を持つといいですね。次回は調査研究費の内訳と成果を聞きたいです。「教育支援センター」について詳しく知りたいです。(設置場所、通い方)
- ・少子化問題を重点に対策していただきたい。

市長提出議案は8議案

杉田住民センター体育室耐震改修工事契約の締結、 安達支所周辺用地取得等を可決

平成29年6月定例会は市長提出議案8件を審議の後、可決しました。

以前より住民から要望がありました杉田住民センター体育室の改修整備については、老朽化に対応して行う耐震改修工事請負契約の締結について提案され、市民産業常任委員会において審議しました。市当局の説明、質疑、現地確認の後、可決しました。

また、安達支所周辺地域の用地確保のための議案については、将来の公園整備を見据え土地を取得するもので、総務常任委員会での審議の後、可決しました。

その他、国民健康保険税条例の一部改正条例制定などの議案も賛成多数で可決しました。



改修予定の杉田住民センターの体育室

議案第62号平成29年度二本松市一般会計補正予算

二本松駅構内の観光案内所整備費など補正予算案を可決

インバウンド誘客にも対応できる案内所として、二本松駅構内に観光案内所を整備する費用や、学童保育を利用する児童の増加に対応する費用などを計上した補正予算で、歳入歳出それぞれ3億6,373万円を追加しています。一般会計補正予算については、全会一致で可決しました。

補正予算の主なもの(歳出)

- | | |
|---|---------|
| ○来てふくしま住宅支援助成金の増 | 800万円 |
| ○学童保育業務委託料の増 | 378万円 |
| ○二本松駅構内観光案内所の整備費、地域おこし協力
隊員4名を新たに配置する費用(安達太良高原の情報
発信等を行う隊員) | 1,135万円 |
| ○霞ヶ城公園内照明設備LED化改修工事費 | 450万円 |
| ○認定農業者育成事業補助金の増 | 511万円 |



照明設備LED化改修予定の霞ヶ城公園

人権擁護委員候補者の推薦

渡邊 利昭さん(杉田・新任)

武藤 利一さん(西新殿・新任)

○市長提出議案とその審議結果

議案番号	件名	結果
第59号	二本松市国民健康保険財政調整基金条例の制定について	原案可決
第60号	二本松市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第61号	二本松市税特別措置条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第62号	平成29年度二本松市一般会計補正予算	原案可決
第63号	平成29年度二本松市国民健康保険特別会計補正予算	原案可決
第64号	損害賠償額の決定について	原案可決
第65号	財産の取得について	原案可決
第66号	工事請負契約の締結について	原案可決

○委員会提出議案とその審議結果

議案番号	件名	会議結果
第1号	福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書の提出について	原案可決
第2号	「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書の提出について	原案可決
第3号	大学生への給付制奨学金制度の拡充を求める意見書の提出について	原案可決
第4号	国の教育予算を増やして「高校無償化」を復活し、給付制奨学金制度の確立を求める意見書の提出について	原案可決

○請願とその審議結果

受理番号	件名	会議結果
第2号	福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の請願について	採 択
第3号	「国の『被災児童生徒就学支援等事業』の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書」の提出を求める請願書	採 択
第4号	テロ等準備罪（共謀罪）法案の廃案を求める請願 (請願者から請願の取下げ申出書が提出され、本会議で取り下げが承認されました。)	取り下げ 承認
第5号	「大学生への給付制奨学金制度の拡充」を求める請願	採 択
第6号	国の教育予算を増やして「高校無償化」を復活し、給付制奨学金制度の確立を求める請願	採 択

6月定例会賛否一覧

※これ以外の案件等は全会一致で可決されています。

議案等名	議員名	議決結果	賛成	反対	本多	佐藤	石井	加藤	本多	熊田	小野	安齋	深谷	菅野	堀籠	佐藤	菅野	小林	浅川	平	平塚	斎藤	佐藤	斎藤	斎藤	高橋	五十嵐	平栗
					勝実	運喜	馨	建也	俊昭	義春	利美	政保	勇吉	寿雄	新一	有	明	均	吉寿	敏子	志一	広二	源市	賢一	周一	正弘	勝蔵	征雄
議案第60号 二本松市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について		原案可決	21	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第63号 平成29年度二本松市国民健康保険特別会計予算		原案可決	21	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※○は賛成、●は反対。 ※議長（野地久夫）は採決に加わっていません。

常任委員会の審査報告

総務常任委員会

二本松市税特別措置条例の一部を改正する条例制定、一般会計補正予算等について

問 固定資産税の課税免除において、過疎法では、製造業だけが課税免除の対象となるのか。また課税免除を行っている企業は何社あるのか。

答 他に旅館業も該当する。課税免除を行っている企業は、現在1社である。

問 課税免除の項目と対象となる資産の価格に条件はあるのか。

答 復興特区の場合、5年度分が免除の対象となり、課税免除の項目は土地、建物及び事業用償却資産であり、業種も幅広く該当となる。また、資産の価格に条件はない。

問 人口減少対策事業の「来てふくしま住宅取得助成金」については、4件分の予算を計上したと説明を受けたが、現時点で申請の見込みはあるのか。また、助成金の上乗せ部分にはそれぞれ条件があるが、その確認はどのようにするのか。

答 現時点で、県外から本市内に転入して住宅を取得するという相談はないが、前年度の実績を踏まえ新築住宅2件と中古住宅購入2件の計4件分の予算を計上した。また、助成金の上乗せ部分の条件確認については、今後示される県の実綱に基づいて実施していく。



机上審査の様子

市民産業常任委員会

一般会計補正予算・国民健康保険特別会計補正予算について

問 地域担い手育成総合支援事業について、認定農業者育成事業補助金の今年度の要望は何件あったのか。また、補助要望の内容はどのようなものが多かったのか。

答 今年度の事業要望件数は34件あったが、なるべく多くの農家の方に利用いただけるよう、昨年度補助を受けた方を除く等の調整を行ない、30件の要望を採択させていただいた。また、補助要望の内容については、トラクターやコンバイン、田植機等の購入が多かった。

問 国保税の軽減を受ける被保険者数及び世帯数、並びに軽減分の全体に占める割合はどの程度なのか。

答 被保険者数は、7割軽減が2,615名、5割軽減が2,083名、2割軽減が1,761名となっており、軽減を受ける被保険者は全体の50.36パーセントとなっている。また、世帯数は、7割軽減が1,934世帯、5割軽減が1,160世帯、2割軽減が900世帯となっており、軽減を受ける世帯は全体の51.82

パーセントとなっている。

問 国民健康保険特別会計補正予算における歳入の中で、子どもの医療費助成支援事業補助金とあるが、これは県で補填するものなのか。

答 子ども医療費助成支援事業補助金については、県独自の補助事業であり、子ども医療費助成事業の実施に伴い、前年度で国の負担金等が減額調整されたもののうち、小学4年生から高校3年生の分について、今年度交付されるものである。



机上審査の様子

議案の審査は、4つの常任委員会に分けて行っています。6月定例会の審査の主な内容をお知らせします。

建設水道常任委員会

一般会計補正予算等について

問 本市では、公園内照明設備のLED化等の施設の改修を進めているところであるが、この度の県補助事業採択に伴う市内各公園の施設改修状況はどのようになっているのか。また、今回の改修箇所はどこになるか。

答 今回の福島県自然公園等施設整備補助金については、県立自然公園のみが該当になるものであるため、今回の改修箇所については、霞ヶ城公園内の施設改修であり、照明設備の改修箇所については、霞ヶ城公園内のスポットライト21基、三の丸広場の園路灯3基であり、今回の改修で、霞ヶ城公園内照明設備のLED化は全て完了となる。なお、それ以外の公園内については、LED化等の施設改修は行っておらず、従来どおりの施設となっている。

問 社会資本整備総合交付金事業に伴う舗装補修工事において、対象の3路線に対して、どのような基準で予算を割振りしたのか。

答 対象の3路線は、舗装の状況が非常に悪い部分が多くあることから、再度補修箇所を調査・検討し、補修の緊急性の高い箇所から割振りをした。



現地調査の様子（市道作田・北杉田線舗装補修工事）

文教福祉常任委員会

一般会計補正予算について

問 市内の学童保育を利用している児童数は前年比で何人増えているか。また、学童保育に待機児童はいるのか。

答 学童保育を利用している児童数は、平成29年5月1日現在で639人であり、平成28年度は536人であったので、103人増えている。また、学童保育は申込みがあれば基本的に受け入れており、待機児童はいない。

問 安達生きがいデイサービスセンター指定管理業務委託料の額が、二本松及び岩代と比較してかなり少ないのはなぜか。

答 二本松及び岩代は単独施設として人件費がかかるが、安達は安達保健福祉センター内で、社会福祉協議会が老人デイサービスセンターと併せて同一職員で行っており、老人デイサービス分の人件費が含まれないのが主な理由である。

問 強風により原瀬小学校の太陽光パネルが飛ばされたとのことだが、他の学校の状況はどうか。

答 各校における太陽光パネルの設置箇所については、被害等が発生する事のないように施設点検を行っている。原瀬小学校については以前にも同様の被害により修繕した経緯があることから、特に強風が発生しやすい地形に立地している施設なのではないかと考えている。



机上審査の様子

一般質問

市の明日を考える!

6月定例会の一般質問は、6月12日から14日の3日間にわたって行われ、14人の議員により、活発な議論が展開されました。

主な質問について、各議員から寄せられた原稿を原文のまま掲載します。



今回から、質問者ごとにQRコードを掲載します。

スマートフォンなどで読みとっていただきますと、録画中継をご覧いただけます。

[発言順]



安齋政保

[市政会]

教育支援センターの指導方法、体制は

問 不登校児童、生徒への指導方法は。

答 適応指導教室を毎週月曜日から金曜日の午前中に開設し、教育指導員の指導の下、各教科の学習指導、社会体験活動、制作体験などを行い最終的には学校への復帰を目指す。また、障がいのある子どもを担当する教員等の研修や相談活動を通して、指導方法等も支援していく。

問 小学校・中学校との連携は。

答 児童生徒の学習の様子を教育指導員が毎日日誌に記録し、随時所属校に伝達するとともに、所

属校の校長や担任にも適応指導教室を参観願ひ、学習する児童生徒の様子を観察や教育指導員との情報交換の機会を確保する。

問 十分な支援ができるだけの人員の確保は。

答 本年度は5名体制で教育支援センターに関わる業務を行っていく。通所する児童生徒数にもよるが、本年度については、5名の職員体制で十分対応できると考えている。次年度以降については、開所後の業務の状況を踏まえ、人員配置等について検討していきたいと考えている。

大規模な太陽光発電設置に伴う影響は

「祖父母手帳」の発行を検討しては

問 今後予想される大規模太陽光発電設置に伴う住環境への影響や景観維持についてどのように捉えているか。

答 5haを超える大規模開発行為は各課で適正な開発への指導を行っている。全国的に発生している太陽光発電業者と住民のトラブルは二本松市ではないが、地域住民とのコンセンサスを十分に図るなど適正な事業実施を求めていく。

問 3世代同居の家庭を対象にした孫育てを支援する「祖父母手帳」の発行を検討しては。



石井 馨

[あぶくま会]

答 他の自治体では祖父母世代への育児参加のための情報提供として発行している。保育や育児に悩む母親が増えており、祖父母世代の育児参加は有効と考えられ、手帳の整備を検討したい。

問 待機児童解消を目的とした「在宅育児世帯」への現金給付を含めた支援制度の導入を検討すべきでは。

答 在宅育児支援については、実施している自治体もあるが、母親の仕事の都合もあり、今後、検討を要するものと考えている。



小林 均

[公明党]

ふるさと納税とクラウドファンディングの取り組みは

入学前にランドセル等学用品費の支給の考えは

問 本市のふるさと納税に対する考えと、クラウドファンディングやポータルサイトへの対応などの今後の取り組みを伺う。

答 今後も二本松市を応援したい、元気にしたいと思われるようなプロジェクトをいかに企画立案できるかが重要で、クラウドファンディングの活用も積極的に検討を進める。ポータルサイトへの対応については、ふるさと納税しやすい環境整備として、インターネットを利用した申込みの準備を現在進めている。

問 文科省は3月31日付で「要保護児童生徒援助費補助金要綱」の改正を行い、入学前にランドセルなど学用品費の支給が可能になった。準要保護児童生徒への対応・準備はどうか。

答 本市では、国の単価改定に合わせて新入学児童生徒学用品費の増額支給を行う。平成30年度入学予定の児童生徒に対し、本年度から入学前支給を実施できるよう、現在、関係規則の改正についての検討と、これまでの実績をもとに補正予算の計上を考えている。

農業振興施策の更なる充実を求める

学校給食への地場産食材利用拡大は

問 稲作農業における農作業受託者台帳整備に取り組む考えはあるのか。

答 農作業受託者に対する支援は重要と考えており、作業受託者台帳の整備に着手した。次年度の支援策検討の資料として活用を図る。

問 コンバイン等収穫機械のメンテナンス費用を助成の対象にすべきではないか。

答 メンテナンス費用に対しての助成支援対策についても必要と考えており、どのような支援が適切で効果的であるか検討して参りたい。

問 牛舎増築への支援として、畜産クラスター事業活用の進捗状況は。

答 本年度2件の事業要望があったので、事業実施に向けて県と協議中である。

問 地場産青果物の給食利用基準（生産者と畑を予め特定し、収穫前にサンプルの放射性物質検査に合格したもの）は変更されたのか。

答 更なる保護者等への取り組み状況の周知・理解が必要であり、本年度も従来の利用基準を変更しないこととした。



菅野寿雄

[市政会]



深谷勇吉

[真誠会]

住民センター・トイレの洋式化は

市の検診・再検査の状況は

問 住民センター・トイレの洋式化の状況は。また、今後洋式化へ向けた整備の考えは。

答 現在14の住民センターがあり、洋式トイレの割合は39.1%。すべての住民センターに2基以上の洋式便器が設置されている。市民から要望の多い洋式トイレの温水洗浄便座への改修に優先的に取り組む予定であり、和式トイレから洋式化への改修は今後の課題と考えている。

問 市の検診で異常が見つかったからの再検査の状況は。

答 検診は受けても精密検査を受けない方も少なからずいることから、早期発見・早期治療に向け、訪問・面談・電話等により、未受診者への個別受診勧奨を継続していく。

問 個人でMRIなど高度な検査を受診した場合、検査費用の補助等は考えられるか。

答 高度な検査を受けた場合、通常、身体不調や検診による精密検査の場合は、保険が適用され、費用が高額となった場合は、高額療養費制度による負担軽減がある。

中学校卒業生へパスポートを贈呈できないか



青年海外協力隊員を市・地元企業が雇用する制度は

加藤建也

[市政刷新会議]

問 中学校の卒業証書と一緒にパスポートを贈呈できないか（パスポート取得の費用を行政と民間業者で助成する制度について）。

答 パスポートを中学校卒業生全員に贈呈するとすると、パスポート取得費用が1人あたり11,000円であり、500万円から600万円の予算を必要とする。また、パスポートを实际手にしても、海外に渡航するには多額の費用がかかり、多額の費用を保護者が負担する可能性もあり、実際に使用する子どもは限定的にな

ることが想定され、市の事業として取り組むことは難しいと思われる。

問 JICA 青年海外協力隊で派遣された人材を二本松市が職員として雇用する制度、また、市内企業が雇用した場合、企業が優遇措置を受けられる制度を制定しては。

答 二本松市職員の採用にあたっては、特例枠は設定していない。また、市内の企業が雇用した場合の優遇措置については、なかなか難しいものがあるのではないかと考えている。



堀籠新一

[真誠会]

岩代国保診療所・後任医師の確保は

デマンド型乗合タクシーの見直しは

問 岩代国保診療所の医師が本年度末で定年を迎えるが、後任医師確保の見解を伺う。

答 福島医大などの関係機関と協議・調整しているが、現在確保のめどが立っていない。本市条例上、定年後最大3年間は勤務延長可能であることから、勤務延長を視野に入れて医師本人と折衝中であり、今後も並行して後任医師確保に向けて、鋭意、関係機関と協議・調整を図る。

問 岩代地域のデマンド型乗合タクシーの運行経路の見直し要望について、検討結果は。

答 市地域公共交通活性化協議会では、登録者の利便性向上の観点から、新殿・旭地区から小浜地区への運行を検討するという結論となった。

問 交通弱者や高齢化社会対応を見据え、地域に役立つ公共交通として、自宅の玄関口から目的施設の玄関口まで移動ができる、デマンド型交通の方向に見直しをしていくべきでは。

答 利用状況や市民の意見等をふまえ、運行経費や利用者負担も勘案し、より利用しやすい公共交通となるよう協議していく。

有害獣処理施設設置に向けた取り組みは



農業経営安定対策の状況は

熊田義春

[市政会]

問 有害獣処理施設の設置時期はいつ頃と考えているのか。

答 「焼却処理施設」と「微生物の働きによる分解処理装置」の比較検討を行い、従来の埋設処理のあり方や各地域の耕作放棄地等を活用した処理方法の検討を含め、当市の現状に合った最も効果的な処理方法について方針をお示しできるよう協議を進めていく。

問 市内の総水田面積、作付面積の状況は（平成28年度）。

答 総水田面積は3,539ha、作付面積が2,006haである。作付面積の内訳は主食用米が1,854ha、飼料用米が73ha、WCS用稲67ha、備蓄米が12haとなっている。

問 市の予算の中で、農業に関わる予算の増額の考えはあるのか。

答 新総合計画実施計画に基づき、国、県の補助メニューも積極的に取り入れ、必要に応じて、市単独事業も措置し、効果的な農業支援が図れるよう予算措置に努めていく。



高橋正弘

[あぶくま会]

公共施設の除染状況、除染土壌の移送完了時期は

特別養護老人ホーム等の入居待機者解消のための対策は

問 一般住宅等の除染がほぼ完了したが、公共施設の除染状況は。また、市全体の仮置き場設置数、仮置き場からの移送業務終了時期は。

答 一般住宅及び店舗、事業所等の除染を優先したことから公共施設の除染状況は、4月末現在で83.4%である。仮置き場は市全体で250カ所である。除染土壌の仮置き場からの搬出終了見込は、一般住宅除染分は平成33年度、その他事業所等の分は平成34年度を見込んでいる。

問 安達管内の特別養護老人ホーム等の施設数、

収容人数、入居待機者数は。また、待機者0のための対策について伺う。

答 特別養護老人ホームは8施設で635人、待機者は806人。介護老人保健施設5施設、465人で待機者191人。認知症高齢者グループホームは12施設、180人、待機者142人。待機者解消のため、市高齢者福祉計画・介護保険事業計画で特老1、グループホーム2施設を位置づけし、うちグループホーム1施設は4月に開所し、他施設は現在整備中である。

地域活性化のための農業振興策と観光連携は

観光都市「菊のまち二本松」復活への方策は



佐藤運喜

[市政刷新会議]

問 農業者への支援拡充と農産物ブランド化は。

答 地域農業の担い手である認定農業者とJAと連携して6次産業化、ブランド化を進め、国・県・市の補助メニューを組み合わせる支援を図る。

問 農家民泊と温泉観光地との連携は。

答 本市では、東和地域において現在22戸の農家が農家民泊として登録されている。グリーンツーリズムを念頭におきながら、市内の温泉地域と農家民泊等の連携を推進し、観光交流人口の拡大を推進していきたいと考えている。

問 観光都市「菊のまち二本松」復活の方策は。

答 地方創生交付金を活用した事業として、菊人形を軸に、プロモーション戦略を構築しPRを行っていく。その1つとして市内の小中学校にプランター菊栽培の協力を依頼し、児童・生徒の皆さんに菊を身近に感じてもらい、更には菊人形会場等、市内に飾ることで菊のまち推進の一翼を担ってもらいたいと考えている。このような事業を継続していくことで、市民参加による「菊のまち二本松」を推進していきたい。



平 敏子

[日本共産党二本松市議団]

介護保険の見直しで2割から3割負担となる対象者の数は

子育て支援センター費の増額は

問 次期高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定の進捗状況と今後のスケジュールは。

答 昨年度、高齢者3,000人を対象にニーズ調査を実施、7月から11月にかけて計画等策定委員会及び庁内幹事会で素案をまとめ、12月の議員協議会で説明、パブリックコメントを実施し、広く意見を聞き、来年3月定例会に関係条例改正、保険料を含む関係予算を提案する。

問 来年度の見直しにより、介護サービス利用者で現在の2割から3割負担になる方の人数は。

答 直近の利用者実績で32人が該当する。

問 平成29年度に入り保育所入所の待機児童数は。

答 申請ベースで96人となっている。

問 市の子育て支援の中心を担う二本松地域子育て支援センター費の増額はできないか。

答 今後とも子育て支援のため、良質なサービスが提供できるよう十分検討していく。

問 子育てハンドブックの活用は。

答 毎年1,600部を作成し、市の窓口等で配布し、情報が必要な方々に届くよう努めている。

今年度からの市鳥獣被害防止計画は

デマンドタクシーの運行改善は



菅野 明

[日本共産党二本松市議団]

問 今年度スタートした二本松市鳥獣被害防止計画のこれまでの計画との違いは。

答 過去3年間の被害状況や従来の対策を分析して見直したものであり、侵入防止柵（電気柵）の整備拡充を図っていく計画となっている。

問 イノシシ捕獲後の処理方法の議論はどこまで進んだか。

答 焼却施設の検討に加え、微生物の働きによる分解処理装置の情報収集を進めている。従来の埋設処理や耕作放棄地等を活用した処理方

法の検討も含め、当市に合った最も効果的な処理方法について、協議を進めていく。

問 デマンドタクシーの運行は旧町毎に1つの運行エリアに改め、市民生活の利便性向上を図るべきではないか。

答 岩代地域と東和地域のそれぞれ2コースの一本化については、利用状況や市民の意見等をふまえ、運行経費や時間設定、台数等を勘案し、利用しやすくなるよう、引き続き市地域公共交通活性化協議会で検討していく。



斎藤 広二

[日本共産党二本松市議団]

国民健康保険の全県一元化と税率改定は

市営住宅入居への保証人の取り扱いは

問 県の国保運営方針と今後のスケジュールは。

答 県から近く素案が示される。10月頃より県への納付金推計が行われ、来年1月に市町村への納付金、標準保険料が示される予定である。

問 国は、子どもの医療費窓口無料化にペナルティをかけているが、解消すべきではないか。

答 0歳から高校3年生までの無料化による減額調整額は平成28年度決算見込額で790万円。来年度、未就学児分308万円が解消される見込み。ペナルティ分の一般会計から国保会計への繰

り入れは、制度が確定してから検討したい。

問 市営住宅入居に際して2人の保証人が必要となっているが、国の通達では、市長が「特別な事情がある」と認めた場合、保証人を必要としないことができるとされ、生活保護世帯もこれにあたり考えられるがどうか。

答 「特別な事情があると認める」場合とは大災害や配偶者からの暴力被害者などであると考えている。制度上の問題や住宅管理上の課題等がないかを考慮して検討していきたい。

農道除染は行わないのか

長命工業団地の進捗状況は



平塚 與志一

[真誠会]

問 本宮市は全ての農道除染を行っているが、二本松市は1.5kmしか行わず、それ以外の農道除染は行わないのか。

答 農林課で行った環境放射能簡易測定結果を基に現地調査を行い、比較的線量が高い農道を選定し結果として1.5kmを実施している。

問 農道除染については、平成27年3月議会から5回一般質問を行い早急に対策を行うよう提言してきたが、再度検討していただきたい。

答 関係各課で連携しながらどのような形で実施

できるか検討していきたいと考えている。

問 長命工業団地は前市長の時に計画を立てて地元説明会を行った。市長就任4年目になるが農振除外も終わらず遅れているのはなぜか。

答 農振除外については、第1種農地のため工業団地開発のための転用は認められないこととされていたが、特例の支援措置により可能となる旨、県の見解があった。実施計画を来年3月までには策定し、県の同意を得て農振除外の本協議に入れるよう事務を進めている。

一般会計補正予算を可決

4月臨時会 4月21日

提出議案は、一般会計補正予算等3件で、審議の結果、全議案、原案のとおり承認・可決されました。

○専決処分の承認を求めることについて（二本松市税条例の一部を改正する条例制定）

地方税法の一部改正に伴う市税条例の一部改正です。（主な内容）

- ・個人市民税 事業所得や長期譲渡所得に係る課税の特例の適用期間の延長
- ・固定資産税 保育事業に係る家屋等について地域決定型地方税制特例措置を定めること
- ・軽自動車税 環境負荷の小さい車両に対するグリーン化特例税率の適用期間の延長

○一般会計補正予算

宝くじ収益金を財源とするコミュニティ助成事業が採択されたことにより、コミュニティセンターの建設、お祭り備品の整備の費用合わせて1,370万円の歳入歳出予算を計上するもの。関連して、歳出で集会施設整備費補助金660万円を減額するもの。

6月定例会 討論

議案第60号・63号 二本松市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について等

反対

菅野 明 議員

今回の税率改定では、医療費の伸びを2.3%に見込んだ結果、一般分・介護分合わせ1人当たり前年対比1万678円、8.3%増の13万311円で例年にない値上げとなる。

国保加入者は高齢者や低所得者が多く、国保税は負担の限界を超え、払いたくても払えない傾向にある。最大の原因は、国保の総収入に占める国庫支出金の割合が、1980年の57%から、今では25%に激減したからだ。

将来の税率アップを抑えるため、一般会計から2億円を国保財政調整基金へ繰り入れたことは高く評価する。

平成30年の国保の都道府県統一化では、国の財政支援と一般会計からの繰り入れがないと国保の構造的矛盾は解決しない。

全国市議会議長会表彰

5月24日に東京国際フォーラムで開かれた全国市議会議長会第93回定期総会において表彰された議員の表彰状の伝達が、6月定例会初日に行われました。

○全国市議会議長会一般表彰 (議員歴10年以上)

五十嵐 勝 蔵 議員
佐 藤 有 議員
堀 籠 新 一 議員



写真左から佐藤有議員、五十嵐勝蔵議員、堀籠新一議員

市議会ウェブサイト

市議会の活動を分かりやすくお伝えするためにウェブサイトを開設しています。ぜひご覧ください。

<http://www.city.nihonmatsu.lg.jp/site/gikai/>

ウェブサイトでは次の情報が
ご覧いただけます。

- 市議会のしくみ
- 議員名簿
- 議会中継
- 会議日程表
- 会議結果一覧
- 市議会だより
- 会議録検索システム
- 議長交際費
- 政務活動費



*市議会ウェブサイトは二本松市ウェブサイト内にあります。

議場を見学しました



6月23日 旭小学校3年生のみなさん

旭小学校 3年 門馬 幸さん

わたしたちは、校外学習でぎ場を見学しました。ぎ長せきにすわらせてもらいました。ぎ長せきは、とても高くて、ながめがよく、思わず「うわあ」と声が出ました。話し合いの時に全体がよく見えて、お話もよく聞こえるようになってきているのだなと思いました。ぎ会はわたしたちの学校の代表いん会みたいだなと思いました。市ぎ会は、わたしたちの市をささえる大切な役わりをしているのだとわかりました。

お知らせ

次回の定例会は9月上旬開会の予定です。皆さまお気軽に傍聴においでください。市議会だより、または、当市議会に対するご意見ご感想をお寄せください

〒964-8601 二本松市金色403番地1
市議会だより編集委員会
 TEL 55-5143 (議事事務局) FAX 22-6047
 E-mail shomu@city.nihonmatsu.lg.jp



傍聴者の声

本会議は、当日の受付で傍聴できます。市役所6階の議場・傍聴者入口からご案内しています。

議会開催の日程等については議事事務局へお問い合わせください。
 議事事務局 ☎0243-55-5143

根崎町内会 土屋 義一さん

去る6月13日(火)、町内会行事の一環で一般質問を傍聴できる機会を得ました。

久しぶりの傍聴でしたが、二本松市の最高意思決定機関にふさわしい品位が保たれ、議員の皆さん、市長さんをはじめ市役所担当部局の皆さんが、それぞれの立場で二本松市の抱える問題や将来について議論されている姿に接することができ、改めて、市民の誇りであるとの思いを深くいたしました。

ただ、質問議員の順番と質問内容の抜粋を記した案内文書が置いてありましたが、具体的な内容が書かれていないので、議論のやり取りを聞くだけに終始すると質問や提言内容についての詳細が解からないまま時間が過ぎると思いました。議員の皆様が質問にかける思いをリアルタイムで傍聴者に伝えるような案内文書にいただければ良いのではとの思いをいたしました。

以前には、質問議員が傍聴席側(市民側)を見て質問をしていたと記憶しているのですが、背中を見せて質問をするように変わっていたのには驚きもありました。再質問等による時間ロスを考慮してかとは思いますが、市民の代表者が市民側に向けて自分の意見を述べるスタイルが懐かしく思いだされます。



6月13日 根崎町内会のみなさん

編集後記

6月定例会は、市民生活に関わる議案や地域振興のための補正予算を審議し、全議案可決しました。

二本松市議会では、今回初めて市内4地区において議会報告会を開催しました。議会の活動について、広く市民の皆様にご理解いただくと共に、市民の皆様の声を聞く場とするとの思いで開催いたしました。今号では、市民の皆様方から頂いた貴重なご意見を掲載いたしました。

市議会だよりでは、今回の第47号から新たに各議員の一般質問の欄にQRコードを付けました。スマホなどで一般質問を動画で見ることが出来ます。どうぞご覧ください。



編集委員会
 委員長
 副委員長
 委員

熊田 義春
 加藤 建也
 佐藤 運喜
 石井 昭馨
 本多 俊昭
 小野 利美
 深谷 勇吉
 小林 均